

富士川水系におけるアクリルアミドモノマー等調査結果について

1. 採水日

令和3年7月28日

2. 検出結果\_\_別添1

3. 調査結果について

(1) アクリルアミドモノマー

①河川水

富山橋付近、南部橋付近の2地点で、5ng/L 検出された。

- ・ 人や水生生物への影響を考慮した各種指標を十分下回っている。

ア WHOの飲料水水質ガイドライン値 (500ng/L) の100分の1

イ 水道水の要検討項目※の目標値 (500ng/L\_厚生労働省) の100分の1

※毒性評価が定まらないことや、浄水中の存在量が不明等の理由から水質基準項目、水質管理目標設定項目に分類できない項目

ウ 水生生物への影響が表れないと予測される濃度※ (41,000ng/L\_環境省) の8千分の1程度

※魚類の急性毒性値より求めた、予測無影響濃度\_「化学物質の環境リスク初期評価」(環境省)平成14年

- ・ 全国調査である「平成19年度化学物質環境実態調査」(環境省)の定量下限値 (5.9ng/L) 未満

②底質

富山橋付近、十島堰付近の2地点で、0.2ng/g-dry 検出された。

- ・ 全国調査である「平成19年度化学物質環境実態調査」(環境省)の定量下限値 (0.2ng/g-dry) 程度

- ・ ポテトスナックの中央値 (参考参照) の約3千分の1

<参考>

○「平成19年度化学物質環境実態調査」(環境省)を元に山梨県作成

項目	検出数/地点	最大値	最低値	定量(検出)下限
水質 (ng/L)	13/48	49	n d	5.9 (2.3)
底質 (ng/g-dry)	40/64	1.9	n d	0.2 (0.079)

注：n dは検出下限値未満

○食品中の含有量\_\_平成16～28年度農林水産省調査を元に山梨県作成

食品名	試料数	中央値 (ng/g)	最大値 (ng/g)
ポテトスナック	120	610	4,600
インスタントコーヒー	60	560	870
炒め野菜	180	23	620

注：日本では、食品に含まれているアクリルアミドモノマーについて、食品衛生法等に基づく基準値等は設けられていない。

※インスタントコーヒー(中央値)を1杯分(2g)に換算すると0.00000112g (=1,120ng)

【単位について】

- ・ 1mg（ミリグラム）＝1000分の1グラム
- ・ 1 $\mu$ g（マイクログラム）＝100万分の1グラム
- ・ 1ng（ナノグラム）＝10億分の1グラム

(2) 有害物質・濁り（SS）

- ・ 全て環境基準値未満であった。

4. 今後の調査計画

季節的な河川水量等の変動による影響を確認するため、継続して調査を実施する。

(1) 時期（予定）

10月、令和4年1月

(2) 調査地点・項目等

検討中

## 【結果一覧】

河川	地点	実施者	水 質			底 質	
			アクリルアミド <sup>※</sup> モノマー (ng/L)	有害物質（26項目） ※1	SS※2 (mg/L)	アクリルアミド <sup>※</sup> モノマー (ng/g-dry)	
雨畑川	①雨畑川流末	山梨県	<5	環境基準値未満	1	—	
早川	②中之島橋		<5	—	2	—	
	③栄代橋		—	—	2	—	
	④弁天橋		—	—	2	—	
	⑤早川橋		<5	環境基準値未満	8	—	
富士川	⑥飯富橋	国交省	<5	—	7	—	
	⑦富山橋付近		5	環境基準値未満	13	0.2	
	⑧身延橋		山梨県	<5	—	7	—
	⑨南部橋付近		国交省	5	環境基準値未満	6	<0.1
	⑩十島堰付近			—	—	—	0.2
	⑪県境		山梨県	<5	環境基準値未満	3	—
	⑫富原橋		静岡県	<7.2	環境基準値未満	22	—
	⑬富士川橋			<7.2	環境基準値未満	2	—
⑭河口付近	国交省	—	—	—	<0.1		
稲子川	⑮稲子川橋	静岡県	<7.2	環境基準値未満	1	—	
稲瀬川	⑯富士川合流直前		<7.2	環境基準値未満	<1	—	
芝川	⑰芝富橋		<7.2	環境基準値未満	1	—	
地点数			13	10	15	4	

※1 水質環境基準が設定されている項目のうち、アルキル水銀を除く26項目

※2 富士川の環境基準値は25mg/L

注1 “—” は実施無し。

注2 アクリルアミドモノマーの定量下限値は分析機器等の違いにより、異なります。

【調査位置図】

